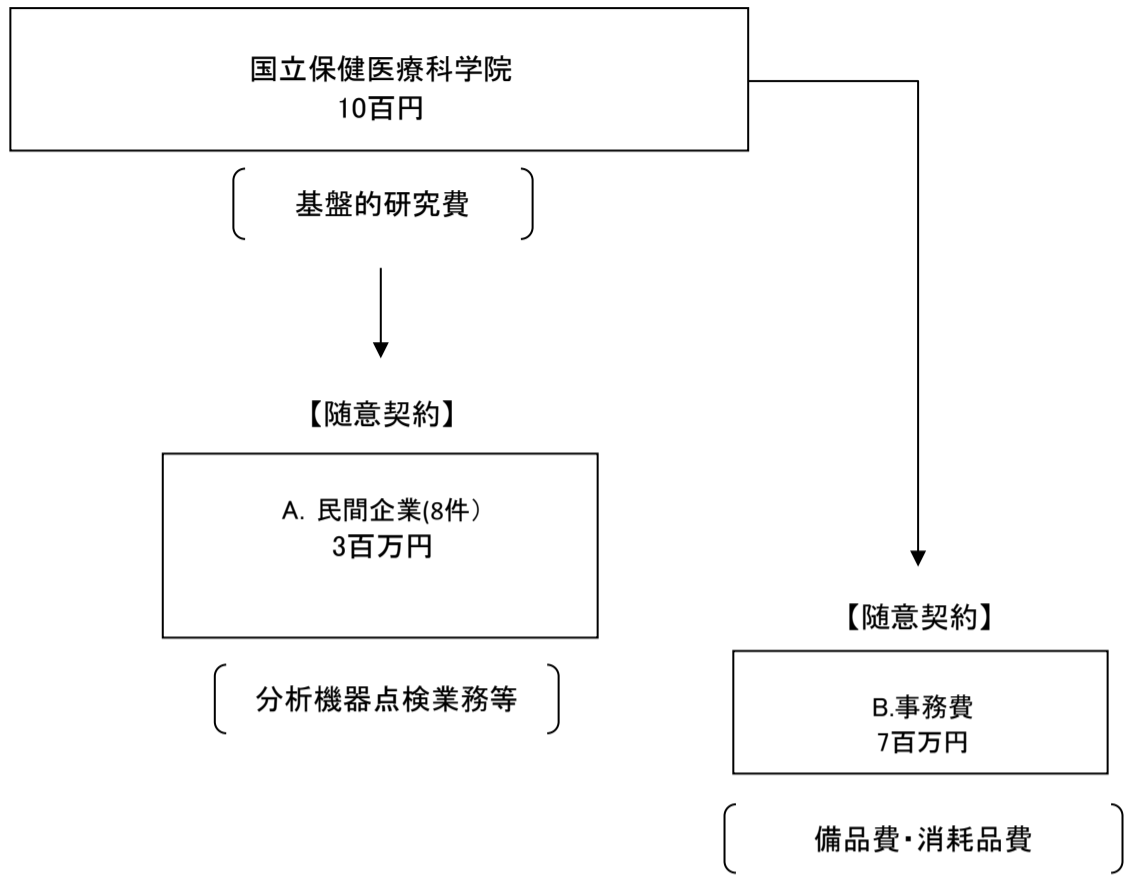


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国立保健医療科学院基盤的研究費		担当部局庁	国立保健医療科学院		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	総務部会計課		課長 岡山 幸平		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適性かつ効果的な運営を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究を行い、国内外における諸分野の動向を踏まえた基礎資料や調査手法の策定などに寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	保健医療福祉サービスに関する ・健康危機管理研究のあり方に関する基盤的研究 ・少子・高齢化社会に対応した健康確保に関する基盤的研究 ・生活環境に関する安全・安心の確保に向けた基盤的研究 等に関する基礎的・基盤的研究を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	24	20	11	11	11	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	24	20	11	11	11	
		執行額	24	18	10			
	執行率(%)	100.0%	90.0%	90.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	基礎研究であるため単年度での成果等を設定していない。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	基礎研究であるため単年度での成果等を設定していない。		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
					-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	11	10.9	執行見込みに基づき、積算の見直しを行った。				
	計	11	10.9					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究を適切に行うために必要な事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	基礎的、基盤的研究であり、国で実施する必要がある。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ、使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	100万円以下の役務のため、少額随意契約とした。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	－
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	－
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	－
－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－	
点検結果	研究課題については、院内の研究委員会において研究課題の評価を行っており、研究の効果的な実施に努めている。今後も、基盤的研究事業に必要な契約を行いながら、更なる見直しを行い経費削減に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業は、保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究を行い、国内外における諸分野の動向を踏まえた基礎資料を得る等に必要な経費であるが、執行状況等検証の上、適切な予算措置に見直すこと。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	執行見込みに基づき、積算の見直しを行った。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0599	平成23年行政事業レビュー	0546



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.アジレント・テクノロジー株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	GCMSシステム点検	0.53			
雑役務費	ICP-MSシステム点検	0.42			
雑役務費	LC分析システム点検	0.27			
計		1.22	計		0
B.美津野商事(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	ソフトウェア購入	0.66			
備品費	セキュリティ機器購入	0.50			
備品費	デスクトップパソコン購入	0.37			
消耗品費	事務用消耗品購入	0.15			
備品費	レーザーポインタ購入	0.08			
計		1.76	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アジレント・テクノロジー株式会社	GCMSシステム点検等	1.22	随意契約	
2	(株)レイハウオリ	オープンソースソフトウェアの改良業務	0.93	随意契約	
3	島津サイエンス東日本(株)埼玉支店	可搬形走査電子顕微鏡点検	0.64	随意契約	
4	株式会社YOS	液体窒素製造装置メンテナンス業務	0.29	随意契約	
5	株式会社USEN	光回線標準工事	0.11	随意契約	
6	(株)ドルフィン	英文校閲	0.06	随意契約	
7	(有)三共クリーニング	白衣クリーニング	0.01	随意契約	
8	(株)産業用水調査会	『用水と廃水』別冊印刷業務	0.01	随意契約	
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	美津野商事(株)	ソフトウェアほか購入	1.76	随意契約	
2	(株)ダイキ産業	電力測定器ほか購入	1.08	随意契約	
3	とら屋事務(株)	デスクトップパソコンほか購入	0.66	随意契約	
4	レノバサイエンス(株)	検査用消耗品購入	0.62	随意契約	
5	堀内電機(株)	デスクトップパソコン購入	0.49	随意契約	
6	(株)高長	検査用消耗品購入	0.46	随意契約	
7	(株)三省堂書店	和書購入	0.35	随意契約	
8	(株)ニュートリノ	洋書購入	0.32	随意契約	
9	大洋産業(株)	プロジェクター購入	0.15	随意契約	
10	(株)オフィス スギモト	事務用消耗品購入	0.15	随意契約	